

【高濃度粉じん計 LD-5D簡易取扱説明書】

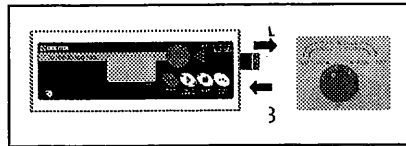
本簡易取扱説明書は「LD-5D」の基本的な使用方法の操作を説明しております。詳細については取扱説明書をお読みください。

【操作概略】

BG判定→感度合わせ→測定→検出器内の清浄化→終了

1. BG測定 (バックグラウンド)

- ①「電源スイッチ (POWER)」を1回押し、電源をONとし、採気口を閉じます。
(採気口にゆがみ、折れ等がないことを確認します。)
- ②感度合わせノブを下図矢印「A」の方向に引き出し、「MEASURE」の方向に回します。



- ③「時間設定スイッチ (MODE)」を数回押し、「BG」表示とします。
- ④1分間以上放置後、「開始・停止スイッチ (START/STOP)」を1回押します。
- ⑤6秒後にBGの測定は終了します。

2. 感度合わせ (スパンチェック)

- ①感度合わせノブを「SENSI.ADJ.」の方向に回し、その位置で上図矢印「B」の方向へ押し込みます。(無理に押し込まないでください。)
- ②表示部上段に「SPAN CHECK」が出ることを確認します。
- ③1分間以上放置後、「開始・停止スイッチ (START/STOP)」を1回押します。
- ④1分後に感度合わせが終了します。

カウント数値付属の検査表に記載されている標準散乱板値 (S 値) に近い数値 (±5 カウント程度) になります。離れている場合は感度合わせを2回以上おこなってください。

3. 測定開始

- ①感度合わせノブを上図矢印「A」の方向に引き出し、「MEASURE」の方向に回します。
- ②採気口を開きます。
- ③時間設定スイッチを数回押し、希望する測定時間を表示させます。例：1分間測定
- ④「開始・停止スイッチ (START/STOP)」を1回押します。
- ⑤1分後測定が終了します。

4. 検出器内の清浄化

- ①感度合わせノブが「MEASUER」の位置にあることを確認して、採気口を閉じます。
- ②「開始・停止スイッチ (START/STOP)」を1回押します。(1分間以上でおこなってください。) 測定が終了したら電源をOFFにし、長期で使用しない場合は必ず電池を抜いてください。

04.04.28S(01)

 柴田科学株式会社

 R100

環境に配慮して、古紙パルプ100%再生紙を使用しています。

お客様各位

柴田科学株式会社

デジタル粉じん計ご使用上の注意

平素は当社製品のデジタル粉じん計 LD-3/-5シリーズをお使いいただき誠にありがとうございます。

取扱説明書の注意事項にも記載しておりますが、デジタル粉じん計を長期間電源をいれずに放置していると、内部のバックアップ電池が放電してしまい、時計がずれたり、メモリーさせておいた測定データが消去してしまうなどの症状が現れます。

これを防ぐため、粉じん計の電源を入れた状態でバックアップ電池に充電を行ってください。新品時のデータ保持の目安としては以下の通りです。

8時間充電（測定を行っていても可）で約5日間データ保持

48時間充電（測定を行っていても可）で約1ヶ月データ保持

なお、ロギング測定を行った際にはすぐにデータをパソコンに取り込むようお願い致します。また、データ取り込み後は粉じん計のメモリーは消去して下さい。

また、長期間測定を行わない場合でも、定期的に粉じん計の電源を入れてバックアップ電池を充電するようにお願い致します。バックアップ電池がない状態でログ測定を行うとメモリーされるデータに破損が生じる可能性があります。

バックアップ電池を充電しても時計がずれる、データが消える等の症状が見られる場合は、バックアップ電池の劣化しておりますので、修理をご依頼ください。